



# 2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL  
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



## 戦況用紙

開催日	2019年 12月 9日 月曜日	試合コード	#80
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	熊本県立総合体育館

結果	A	スコア		B
	スロベニア	29	前半	27
14-13				
後半				
15-14				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7m c				
—				
—				
SLO			COD	

戦況	見出し	SLOが激闘を制してCODを破る
	前半	<p>プレジデントカップ19-20位place matchのSLO-CODは、CODのスローオフで開始。COD-No11がミドルシュートで先制すれば、SLO-No28もLWから決める。4分を過ぎて2-2と互角の立ち上がり。SLOは5-1DFにシフトチェンジし、高く積極的になる。COD-No42のPVシュートが決まり、3-6と流れを掴む。SLOのGK-No16の再三のファインセーブで、CODの勢いを断つ。CODはSLOのチェックにフリースローが多くなり、なかなかシュートチャンスがつかれない。15分15秒に、SLO-No10が7mTを決めて6-6の同点になり、CODがタイムアウトを申請する。CODは2連取して突き放すが、SLO-No18のステップシュートで追撃する。22分CODのLB-No9のミドルシュート、No42の速攻で8-12と4点差に開く。24分08秒9-12の3点差で、SLOがタイムアウト。COD-No9が5得点目をあげ10-13となった。COD-No5が退場となると、7mTをNo10が決めて11-13になる。SLO-No10の5得点目で12-13とし、終了間際にもSLO-No10の速攻のゴールで14-13と逆転して折り返す</p>
後半	<p>1点をリードするSLOのスローオフで後半30分の開始。立ち上がりCOD-No9の速攻で14-14の同点となる。4分過ぎにSLO-No10のミドルシュートと、速攻で17-15とする。COD-No9も8得点目の速攻で17-17に追いつく。SLO-No10とCOD-No9の両エースの活躍で、9分を過ぎて19-18の接戦のまま進む。12分28秒21-20で1点リードのSLOがタイムアウト。CODもNo11を前に出し5-1DFにシフトチェンジする。15分40秒、ここまで好調のCOD-No9がコート上で倒れるアクシデント。SLO-No10が9得点目のミドルシュートで23-21としたが、CODも速攻で2連取して23-23とする。残り10分となり、SLO-No10が12得点目をステップシュートで決めて26-24となり、CODがタイムアウト。CODはLBIにNo10を投入するが、SLOはマンツーマンでシュートチャンスを与えない。25分を過ぎて、27-25とSLO2点リード。29分03秒28-27でSLOが3回目のタイムアウト。29分41秒にSLO-No10が7mTを決めSLO29-27CODで終了。この結果19位SLO、20位CODとなり、この試合のプレーヤーオブザマッチは、13得点をあげたSLO-No10STANKO Tjasaが受賞した</p>	



戦況作成者	中野 靖士
-------	-------